

# 第1回&第2回 庄原特別支援学校公開研修会

平成 23 年 7 月 28 日（木）、29 日（金）、8 月 26 日（金）に公開研修会を行いましたので、その様子を紹介します。

第1回目<1日目> 7月28日（木）

講演「感覚統合の視点を生かした授業づくり」

県立広島大学保健福祉学部作業療法学科 教授 土田 玲子 氏

## 参加者アンケートから

- \* 子どもの動きを見る参考になりました。
- \* 脳・神経・運動・感覚といった面から子どもの育ちやつまずきを捉えるという「新たな見方」を知ることができました。
- \* 子どもにとって、遊びがどれだけ重要であるかということが、具体的に実感できる内容でした。



第1回目<2日目> 7月29日（金）

講演「発達障害の特性を踏まえた授業づくりと教材・教具の活用」

筑波大学附属久里浜特別支援学校 幼稚部主事 岩田 信子 氏

## 参加者アンケートから

- \* “わかる授業づくり”には、教材・教具が大切なことが分かりました。
- \* 支援について“なぜ”という視点で振り返ることが大切だと思いました。
- \* 子どもの側に立つことが、教師として一番大切だということを改めて感じました。



第2回目 8月26日（金）

報告「作業学習における評価の工夫」

高等部主事 大野 英明 / 教諭 新開 篤志（進路指導主事）

研修「アセスメントを生かした授業づくり」

教諭 松友 智子（教育相談主任）

## 参加者アンケートから

- \* 作業学習に関わって技能検定を導入したことは、一人ひとりの目標が将来にわたって明確になり、よいことだと思いました。
- \* 特別支援学校における就労への様々な取組みが分かりました。JSTの存在や技能検定については、初めて聞いたので参考となりました。

## 参加者アンケートから

- \* アセスメントの重要性とその活用について理解を深めることができました。
- \* 検査結果を見取ることの難しさを感じました。
- \* WISC-IIIを初めて体験しました。学校には検査器具がないので実際にすることはできませんが、子どもを理解する手段の一つだと感じました。



多くの皆様に御参加いただき、  
ありがとうございました。

